

2008年3月4日

各 位

株式会社インテック

**全国のメーカー・卸売業向けに「流通 BMS」対応 EDI ソリューションを拡販
～小売業の「流通 BMS」採用本格化に向け、ソフトウェアとサービスの提供を本格展開～**

株式会社インテック（本社：富山市、代表取締役 執行役員社長：金岡 克己、以下 インテック）は、流通業界で導入が進む「流通ビジネスメッセージ標準（以下 流通 BMS）*1」について採用を決める小売業が増えていることから、流通 BMS に対応したメーカー・卸売業向け EDI ソリューションの提供を本格化し、全国に販売展開いたします。

流通業界では、消費者の嗜好の変化や「安全安心」への関心の高まりに伴うきめ細かな情報のやりとりなど、国際競争力のある企業への変革が求められています。その実現に向け、旧来の受発注システム(EOS)*2で採用されていた JCA 手順に代わり、高速かつ安価な企業間取引を実現する流通 BMS が流通業界のユーザ企業を中心に検討・策定され、昨年 4 月より各社で導入への取り組みが始まっています。これにより、スーパーマーケットや百貨店などの小売業や他の流通業各社全体にわたる EDI 規格の仕様が固まり、小売業に商品を納入している卸やメーカーなどでも、流通 BMS への取り組みが必須となります。

インテックは B2B-ix 事業*3において、インターネット EDI の標準である流通 BMS に取り組み、100 社を超える導入実績があります。また平成 18 年度より、流通 BMS の共同実証に参加する企業に協力し、流通 BMS 対応 EDI システムの運用実績やノウハウを蓄積してきました。すでに昨年 8 月よりメーカー・卸売業向けに、流通 BMS 対応端末ソフトウェアの提供を開始しているほか、新たに流通 BMS 対応の ASP サービスについても提供を開始いたします。

導入のコストを抑え、少ない取引量の範囲で対応されるお客さまには、「eB-forBMS*4」を提供しています。「eB-forBMS」は単なる安価な EDI 端末ではなく、原材料や生産者の情報を管理・活用可能な商品マスタの機能を併せて提供するコストパフォーマンスの高いソフトウェアです。2008 年 3 月までの期間限定で、割安な特別価格で提供しています。専用の申し込み受付窓口を設けて、お客さまからのお問い合わせにお応えいたします。

新しい EDI 規格である流通 BMS 対応システムに対する導入への不安や、運用面の負荷を懸念されるお客さまには、ASP サービス型の「EDI-Hub ソリューション*5 流通 BMS 対応サービス（以下 流通 BMS 対応サービス）」を提供いたします。すでに昨年 10 月から、一部のお客さまにて本番稼働しています。システム導入型では必須のシステム構築に関する作業を軽減し、短期で流通 BMS に対応できることが特徴です。インテックはこれから流通 BMS に対応する企業や現在暫定対応をされている企業に向けて、安心してお使いいただける実績のあるアウトソー

シングサービスとして提供を本格化していきます。

また、多くの取引量が見込まれるお客さまには、サーバパッケージソリューション「UMLaut®/J-XML™*6」を販売しており、お客さまのさまざまなニーズにお応えするソリューションを展開いたします。

そのほか、インテックは流通 BMS に対応するお客さまに、インターネットを安心してお使いいただけるインフラにするための、流通 BMS 対応電子証明書発行サービス「EINS/PKI+ for EDI」を他社に先がけて提供しております。

メーカー・卸売業のお客さまなどからご相談が多く寄せられるなか、今後流通 BMS は一層の普及が見込まれています。インテックはこれら EDI ソリューションの提供体制を強化し、全国に拡販をおこなってまいります。

なお、インテックは現在、今月 7 日まで開催中の第 24 回流通情報システム総合展「リテールテック JAPAN 2008 (会場/東京ビッグサイト)」に出展しており、プレゼンテーションや展示デモンストレーションを通じて、来場者の方々にこれらのソリューションを紹介しています。

*1:「流通ビジネスメッセージ標準 (流通 BMS)」(リュウツウビーエムエス)

流通業界のプレイヤー企業が中心となって策定した EDI の規格。2007 年 4 月 1 日に ver1.0 が正式リリースされた。受発注業務のプロセスや、交換するデータ項目などが規定されている。通信回線にはインターネット、データ項目の表現形式には XML を利用することが前提である。

*2: EOS (イーオーエス)

Electronic Ordering System の略。購買側から見た発注システムのことで、受注側はこのシステムに接続することで EDI を実現する。

*3:「B2B-ix 事業」(ビートゥビーアイエックスジギョウ)

「B2B」は、「Business to Business (企業間取引)」、 「ix」は、「internet exchange (相互変換)」を意味する。「B2B-ix」は、インテックが進める新しい企業間取引の情報システムプラットフォーム。

*4:「eB-forBMS」(イービーフォービーエムエス)

受発注や検品、出荷、請求などのデータを流通 BMS に準拠した形式でやりとりできることに加え、EDI と商品データベースの一元管理を可能にすることで、簡単に商品情報の確認・調査をおこなうことができるソフトウェア。商品の「安全安心」対策への基礎情報を整えることにもつながり、例えば問題のある原材料が見つかった場合、その原材料を使用した商品を検索し、リストを作成するなどの対応も可能となる。(開発元: eBASE 株式会社)

専用受付電話 (インテック): 03-5665-9792

*5 : 「EDI-Hub ソリューション」(イーディーアイハブソリューション)

インテックが提供する EDI システムの ASP 型ソリューション。EDI での取引データ件数など利用規模に応じた課金体系が可能であり、一般的な EDI に使用される通信プロトコル (JCA , 全銀 BSC , 全銀 TCP/IP , RFC4130(EDIINT AS2) , ebXML MS(ebMS) 等) に対応するほか、企業システム連携によく利用されるミドルウェアにも対応、EDI システムのフルアウトソーシングが可能。

*6 : 「UMLaut®/J-XML™」(ウムラウトジェーエックスエムエル)

流通業向けの次世代電子商取引を実現するソフトウェア。従来の JCA 手順に代わり、インターネットを活用して高速かつ安価な企業間取引を実現する次世代の受発注ビジネスソリューションで、流通 BMS に対応している。これまでの EDI システムではできなかった伝票明細レベルの確認も可能で、お客さまのシステム活用により、業務負荷の削減、本当の伝票レスの実現、コストの削減や業務所要時間の短縮の実現も可能。(開発元：ウルシステムズ株式会社)

本件に関するお問い合わせ

株式会社インテック B2B-ix 事業推進部

TEL : 03-5665-5113 Email : net_info@intec.co.jp

* eBASE は eBASE 株式会社の登録商標です。

* UMLaut 及び J-XML はウルシステムズ株式会社の登録商標または商標です。

* その他記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

以上